

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中 報告日 2020年11月9日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	大分県	代表者名	広瀬 勝貞
担当者部署	総務部市町村振興課	連絡先電話番号	097-506-2408
担当者役職	副主幹	担当者氏名	伊東 大樹
住所	870-8501 大分県大分市大手町3-1-1		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	佐藤 泰格
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	<ul style="list-style-type: none"> • 具体的かつ実務に沿った、即活用できるアイデアをご提示いただいた。 • 経験に基づく、机上ではない実践的な立場からアドバイスをいただいた。 • 事前にお渡しした質問事項についても講話に上手に折り込みお話しいただいた。
アドバイザーへの要望事項	・特になし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2020年10月19日	13時00分	16時00分	60	120
3-2. 派遣場所	会場名	大分県水産会館		最寄駅	大分駅
	所在地	大分市府内町3丁目5番7号		最寄駅からの交通手段	徒歩
	派遣形態	講演(実地)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】 県内市町村職員	人数 39人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> • 県内のマイナンバーカード交付率が全国平均を下回っている。 • 普及を進めるにあたり市町村のノウハウが不足している。 	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	• マイナンバーカードの交付率の向上(全国平均との乖離を現在の0.52%よりも縮める)	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> • 成功事例の分析方法(月次で交付率が伸びている団体を抽出し、主要な取組を分析する等) • カード交付率の平準化の重要性(5年で電子証明書、10年でカードの更新があること等) • カード交付連携先とWinWinの関係を構築する手法(相手にメリットを与える等) • 毎回説明することで時間がかかるものをビジュアル化(説明事項をフリップにする等) 	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	• 今後活用予定	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他 講義用のレジュメ
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 今後市町村を訪問しヒアリングする予定があるため	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	• マイナンバーカードの交付率の向上(全国平均との乖離を現在の0.52%よりも縮める)	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

